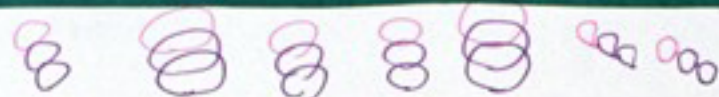
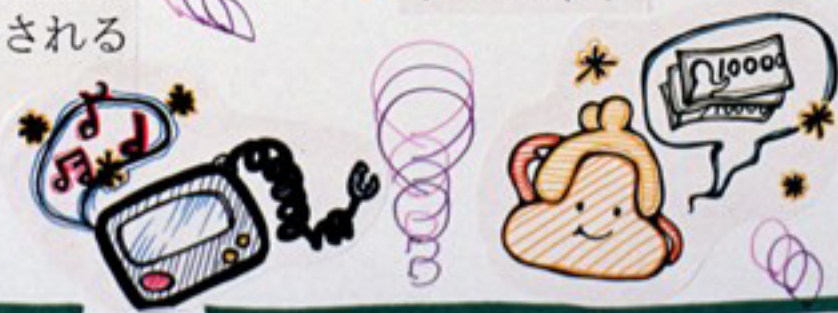
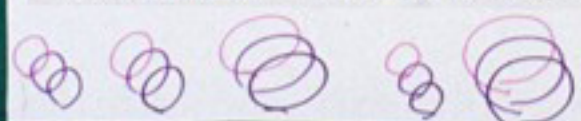
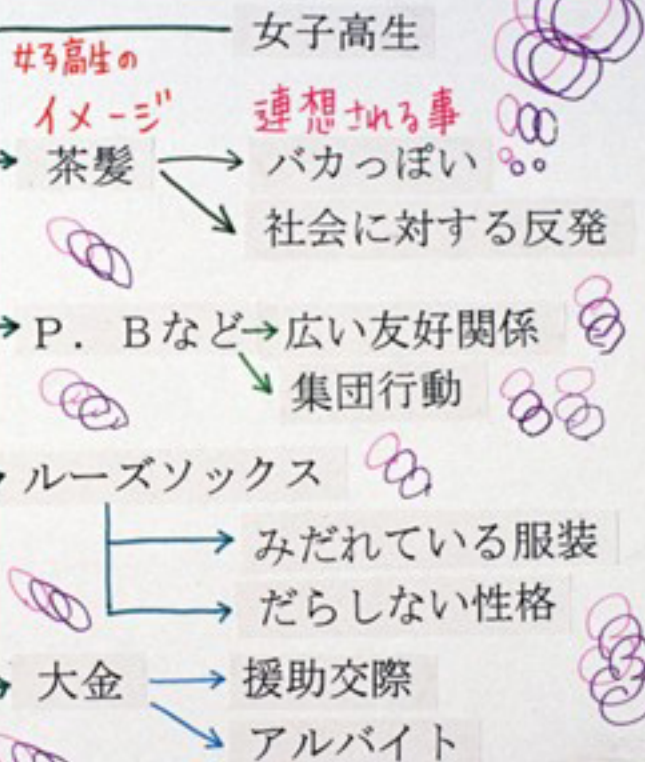


2.



「女子高生」が特別視される理由
 高校生という存在自体、特別なものだと思います。子供でも大人でもない曖昧な存在であるといえるでしょう。社会から注目されるその理由は、現在の大人達の頃の高校生と今はずい分変わった所があり、それと比べられるからです。昔は、高校生がTV、雑誌などに出ることが、ほとんど見られなかったので現代の状況が特別に見られてしまうからだと思います。

特別視はどんなものか
 社会からの視線は女子高生のすべてをとらえているわけではありません。ほとんどTVなどで知った知識とそれから連想される思いこみではないでしょうか。その過程を下記に記してみました。



大人達は勝手に女子高生のイメージを悪く決めつけてしまっています。私達女子高生自身が、そういう情報に流されています。一方、大人達も偏った情報が多いため、反発として彼女達は羽目を外れているのです。「こんな大人になりたいという憧れる人や目標とする大人がいなくなるのが可能ではないでしょうか。私達い。だから今を楽しく生きよう。」と思っ女子高生も大人ももっと賢くならなければいけないでしょう。きっと自分達も今の大人のようになるのではないかとあきらめの気持ちがあります。そこで、どうせ三年間の短い間だけだから今の内にはめはずしてしまおうと楽しんでいるのかもしれませんが。流行なんて女子高生がちょっと広めただけであって、流行らせようと思っていなかったでしょう。流行らせて儲けよう思っていたのは大人の人達であると思います。私達は、流行らせる手段として利用されているのです。



女子高生

みだらしな
(羽目)
反発

あーか
れ

外見で判断するな

大人の
意見は矛盾している。

